

経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県 玄海町

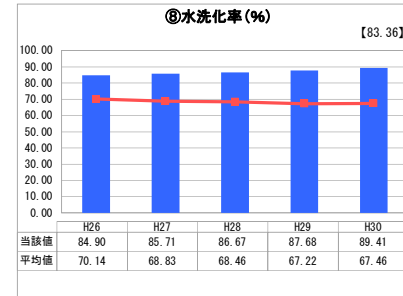
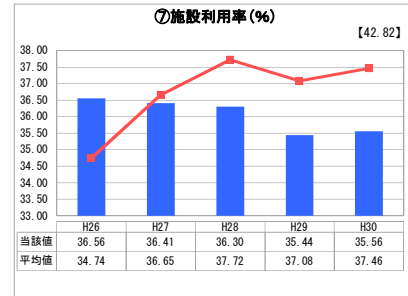
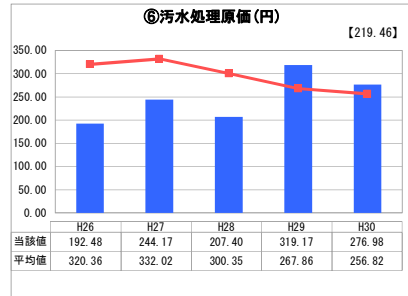
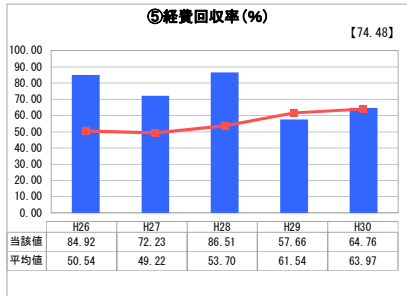
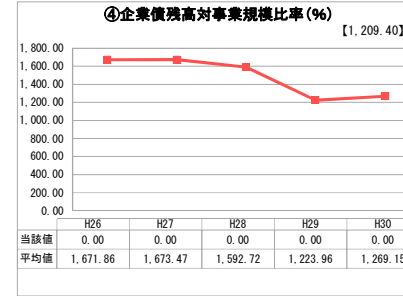
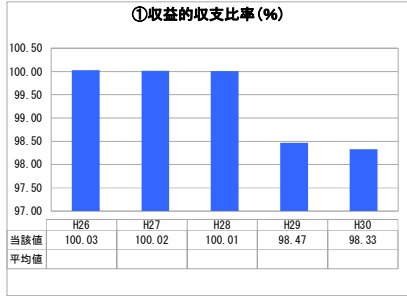
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	75.57	100.00	3,450

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,650	35.92	157.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,238	1.46	2,902.74

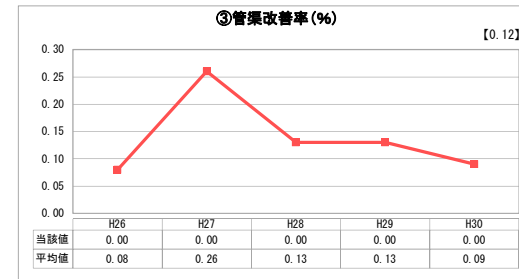
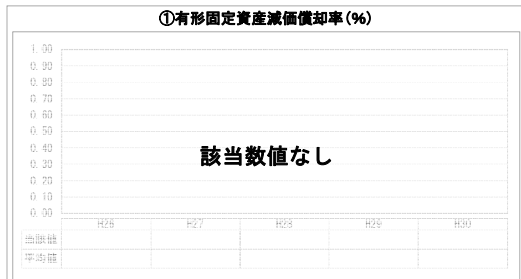
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は、平均値と大差はなく64.76%となっているが、使用料のみでは経営は成り立っていない状況となっている。
 このため、一般会計繰入金に依存している現状であり、企業会計へ移行後も使用料のみでの経営は困難を要すると推測される。
 今後は、施設の老朽化に伴う負担増も見込まれるため、修繕等計画的に実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

南部浄化センターの併用開始が平成18年度、北部浄化センターの併用開始が平成22年度となっており、近年修繕箇所が度々発生してきている。
 このため、大規模な故障を未然に防止するためにも、計画的に修繕を実施していく。

全体総括

計画区域内の管渠布設等が完了し、現在老朽化対策を講じる時期に差し掛かっている。
 このため、経営戦略等による将来的な試算及び適正な施設規模など随時分析を行い、将来にわたって安定的なサービスの提供が行えるよう経営の健全化を図り、効率的かつ適正な事業運営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。